

週間漁海況情報 2023年第1号

令和5年1月5日発行

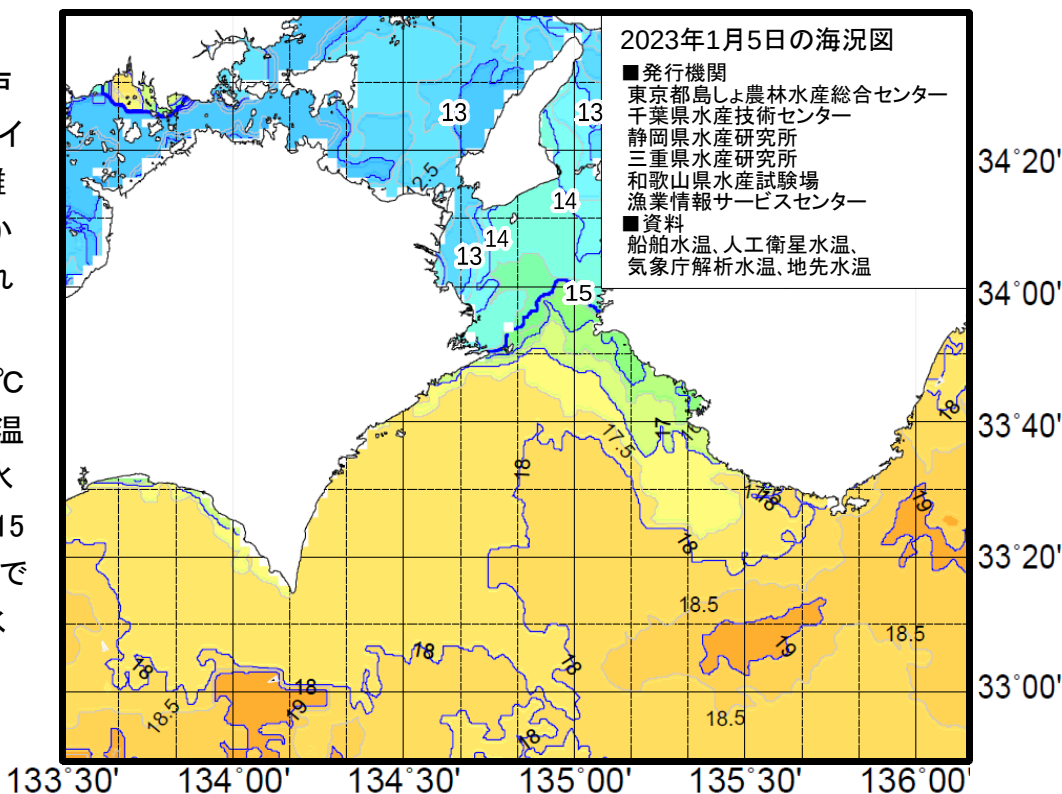
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖67マイル、潮岬沖138マイルを流れ、いずれも「著しく離岸」している。今後、室戸岬から、さらに離岸すると予測されている。

黒潮の表面水温は20～21℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が12℃台、紀伊水道12～14℃台、海部沿岸が15～17℃台となっている。内海での水温低下が大きく、紀伊水道口周辺での水温差が大きい。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

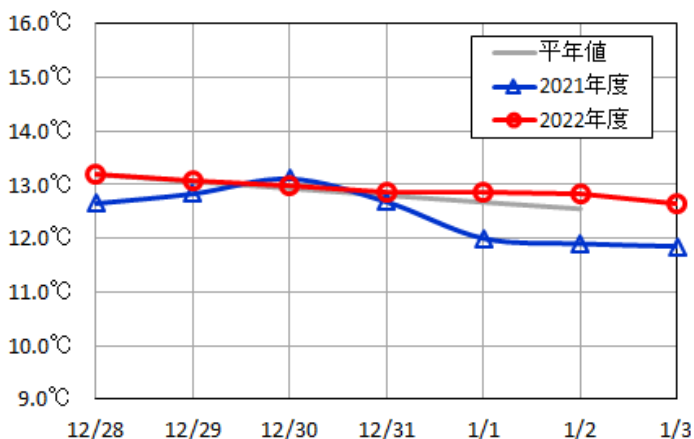
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

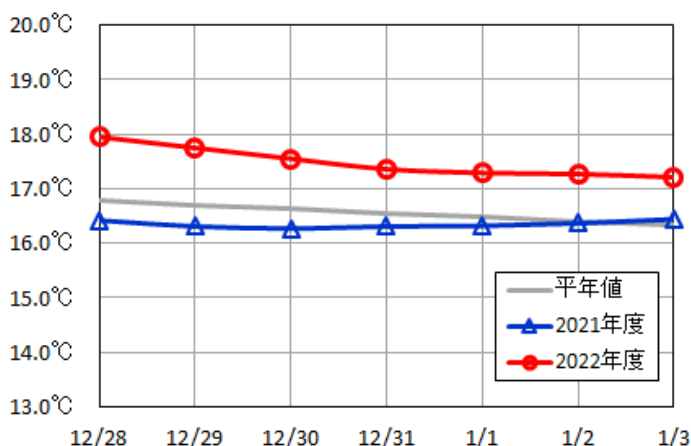
2. 地先水温(12月28日～1月3日)

鳴門地区の水温は、12.6～13.2℃で「平年並み」、日和佐地区は17.2～17.9℃で、「やや高め」で推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は4.4～4.7℃で、先週並みであった。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(1月4日～1月10日)

黒潮は、室戸岬、潮岬沖とも、「著しく離岸」する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」、日和佐地区は「やや高め」で推移する見込み。

漁況 (12月26日～1月1日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：5)

船びき網では、シラスが大きく減って3.3ト水揚げされた。
 延縄では、サワラが大主体に0.6ト、ブリが減ってめじろ級主体に0.2ト水揚げされた。
 小型定置網では、すずき類が0.7ト、カワハギが大きく減って0.7ト、マアジが大きく減って0.4ト、ブリが大きく減ってめじろ級主体に0.3ト水揚げされた。
 底びき網では、かます類が増えて、モンゴウイカが増えて0.9ト、マダイが大きく増えて0.7ト、えそ類が増えて0.4ト、アオリイカが0.3ト、カワハギが大きく減って0.3ト1.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、タチウオが大きく減って0.7ト、カツオが大きく減って0.5ト水揚げされた。
 小型定置網では、アオリイカが増えて0.4ト水揚げされた。
 大型定置網では、メアジが減って0.5ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	20	シラス	3,300	165		↘↘
	延縄	29	サワラ	605	21	大主体	→
		14	ブリ	235	17	めじろ級主体	↘
	小型定置網	7	すずき類	695	99		→
		14	カワハギ	666	48		↘↘
		11	マアジ	448	41		↘↘
		12	ブリ	268	22	めじろ級主体	↘↘
	底びき網	21	かます類	1,321	63		↗
		21	モンゴウイカ	949	45		↗
		18	マダイ	715	40		↗↗
		21	えそ類	412	20		↗
		18	アオリイカ	316	18		→
23		カワハギ	260	11		↘↘	
海部沿岸	釣り	11	タチウオ	746	68		↘↘
		32	カツオ	508	16		↘↘
	小型定置網	24	アオリイカ	422	18		↗
	大型定置網	3	メアジ	513	171		↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘